



SDGsでつくる石巻市の未来

みんなのでやる意識が大切



遠藤さん(左)から市が作ったSDGsのポスターについて説明を受けることも記者

宮城県石巻市は国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向け、さまざまな事業に取り組み「SDGs未来都市」に選ばれています。同市大谷地小5年のこども記者、阿部花佳さん(11)と内海蘭華さん(11)が、どんな未来を目指しているのか、市の担当者に取材しました。

(1面に関連記事)

東日本大震災で大きな被害を受けた同市はSDGs

が掲げる目標の一つ「誰一人取り残されない社会をつくろう」の趣旨を取り入れ、復興の道を歩んできました。

市SDGs移住定住推進課の遠藤正啓課長(56)は「震災後人口が減り、少子高齢化が進んでいます。地域コミュニティの育成、防災・減災の体制強化、公共交通の充実が主な課題です」と話します。

市がSDGsに取り組む

企業や団体を登録する「SDGsパートナー」の数は1000を超えたものの、昨年度の意識調査によると、実際に個人で行動している人は4割にとどまりました。

こうした実態を踏まえ市は啓発活動に力を入れているそうです。「エコバッグやマイボトルを使うなど、何でも良い。行動する人を増やしたい」と遠藤課長は言います。

「よりよい石巻を作るために、私たちに何を期待しますか」と質問した2人に、遠藤課長は「性別や世代に関係なく、みんなで行おうという意識が大切ですね。何がSDGsにつながるのか、友だち同士で考えてほしい」と語りました。

取材を終えて



町おこし発想すごい 内海蘭華さん

漫画で町おこしという発想がすごい。石ノ森先生に会ってみたいかな



若い人取り込み大変 阿部花佳さん

石ノ森萬画館に若い人を取り込むための工夫や課題を聞いて、大変だなと思いました。

多かったです。世界中から多くの人に来てもらいたいんです。少子高齢化などの課題は、みんながSDGsに取り組めば解決できると思う。知識を増やし、自分も広めていきたいです。

実際に取り組む人が増えるといいなと思います。取材は緊張したけれど、楽しかったです。

2025年度版 || 宮城県 **好評発売中**

高校受験総合ガイド

公立高校80校+2キャンパス、私立高校19校、私立・単位・通信2校のガイドを掲載!

特集 変わる受験環境と増える選択肢

宮城の高校受験の最新動向

- 制服図鑑
- 入試直前対策テスト 解答と解説

発行 河北新報出版センター

〒980-0022 仙台市青葉区五橋1丁目2-28
電話022(214)3811 FAX022(227)7666
9:30-17:30(土日祝を除く)
https://www.kahoku-books.co.jp

河北 Books

定価 **1,650円**

お求めは、書店、河北新報販売店または河北新報出版センターまで。
河北新報配達地域にお住まいの方が、河北新報販売店または出版センターにお申し込みの場合、ご自宅や職場に配達します。(配達料無料・ただし一部配達できない地域もあります)